



～本号の内容～

- えぼっくハウス箱根外出…… 1
- 成人お祝い・きらめき祭…… 2
- 活動写真、新人紹介…… 3
- 常勤会議紹介…… 4, 5
- 研修報告…… 6, 7
- 編集後記…… 8

トムトム通信

えぼっくハウス(生活介護) 箱根外出



えぼっくハウスでは、10月24日・25日の2日間に分かれて箱根に行ってきました。

当日は天候にも恵まれ、遊覧船やロープウェイからの壮大な景色、レストランでの昼食、大涌谷での硫黄の香り？を楽しみながら箱根を満喫してきました。学生時代にはロープウェイの高さと狭さが苦手で乗車することができなかった方も、今回は無事に乗車することができ、楽しむ姿を見ることができました。

成人 ちゆでどう

キャロット工房

からんころん



今年はからんころんの3名、キャロット工房の3名の方が成人を迎えられました。おめでとうございます。



きらめき祭 出店



今年もからんころんは、茅ヶ崎養護学校のきらめき祭へ出店しました。くるみボタンシリーズ、猪の貼り絵の年賀状に加え、今年は初めて挑戦した、みやこ染めの手ぬぐいも販売しました。

お正月

初春

ゆうゆうクラブ

初詣



クリスマス会

あいあいクラブ



ゴロゴロクラブ



ゆうゆうクラブ



お正月



書き初め



新人職員紹介

名前／所属	山田 涼子(やまだ りょうこ)／えぼっくハウス
趣味	音楽鑑賞
座右の銘	いのちだいじに
ストレス発散方法	手間のかかる料理を作る
好きな食べ物	しろくまアイス
紹介文	夜、外に出ると星座を探します。知るということ、そして視野を広く持つと見える世界が広がる気がします。日常でも視野を広く持っていきたいです。よろしくお願いします。



毎月第3水曜(原則。8月を除く)の夜、トムトムの常勤及び嘱託職員はえぼっくハウスに集合し、常勤全体会議をおこなっています。

それ自体はご存知の方もいるかもしれませんが、ここではどんなことをしているのか？
今回は秘密のベールに包まれてきた常勤会議の中身をご紹介します!!



19時ごろから徐々に仕事を終えた職員が集まってきました。なかなか他の現場の職員と顔を合わせる機会も少ないので、最近そっちはどう？なんて話もこのタイミングならでは。

会議は19時30分から21時30分。前半の1時間は講師をお招きして研修をおこなったり、事業体・事業所ごとに日頃の業務の効率化や課題の解決に向けて話し合いをしています。研修は障がいや支援についての理解を深める講習はもちろん、感染症予防や防災・防犯など、事業の運営や活動に必要な勉強会も実施しています。



この日は事業ごとにグループワーク。明日の支援も近づく中、打ち合わせや支援の検討をしています！

委員会活動



安全委員会

法人内の安全管理に関わる業務を担います。避難訓練や備蓄品の確認、救命講習など。今年度は車両の運行管理に力を入れることとなり、委員会内で車両管理班を設け、安全運転のための講習会、車両の整備状況の確認などを行っています。

常勤・嘱託職員はいずれかの委員会に属しています。以前は各委員会ごとに午前中に会議を開いていましたが、事業所によっては支援の時間と重なり参加しにくいということもあり、現在はこの常勤会議の後半の時間を使って1時間ほど行っています。



衛生委員会

感染症対策などの啓発や事業所の救急箱の管理状況の確認などをおこなっています。その他、職員が陥りやすい腰痛の予防や、メンタルヘルスについてのアプローチもしています。



IT委員会

我々も多くのデスクワークはパソコンで作業しています。そんなIT関係の環境整備などを担っています。この広報誌の紙面づくりもパソコンで編集しているわけで、おかげさまでかどります！



研修・人権擁護委員会

常勤会議で実施する研修のほか、3月、6月に行われる職員全体研修など法人内の研修会の内容を企画しています。人権擁護の観点を積極的に組み込み、職員の意識向上、スキルアップ、知識の吸収を目指します。



広報委員会

われらが広報委員会です。このトトム通信や、法人パンフレットの作成を行います。毎度毎度自分たちで設定した締め切り近くになって焦りだすメンバーたちです。。。



アメニティフォーラム研修報告

今年も滋賀県で開催された障がい福祉を中心とした研修会に2泊3日で3名の職員が参加してきました。障がい福祉に携わる人達が国の、地域の、現場の問題や課題について、熱い議論を交わしたりと大いに盛り上がりました。今回、トムトムの職員として福祉の現場で働く思いや、研修で感じてきたことを報告としてご紹介させていただきます。

ある講演者はホームレスの支援活動を行っている牧師で、ホームレスの中には様々な事情で貧困になった方や精神的な疾患のある方、知的障がいのある方もいるとのお話を伺いました。その講演の中で、「津久井やまゆり事件」の犯人と面会をした時のことをお話しされました。彼は入所施設で勤めていた経験があり、入所者との関わりの中で「障がい者は世の中で何の役にも立たない、なぜならば経済的な生産性に貢献していないからだ。役に立たない者は死あるのみ」そのような考えを持ち殺傷事件を起こしました。現在もその考えは変わっていない様です。では、生産性とはお金や物を得るためのことだけでしょうか？そして、その講演者はある出来事もお話しされました。「私達の活動の中で年に一回ホームレスを中心とした運動会を行っています。その運動会には子どもも参加していました。日中その運動会に参加するのですから、何らかの事情で学校に行けてない、居場所のない子どもです。その子どもが「死にたい」と気持ちを伝えたと、そのホームレスの人は「生きにゃ、あかん!!」とその子どもを勇気づけた。」と話をされました。私は毎日生きるか死ぬかの瀬戸際の生活をしているホームレスの人の「生きにゃ、あかん!!」その言葉の重みをひしひしと感じました。物やお金の富の生産性ではなく、心の生産性というものもあるのではないのでしょうか。私達の現場に置き換えてみると私達支援員は言葉で意志を伝えられない方、音や声を敏感に感じてしまう方、内臓疾患のある方、身体の不自由な方など、現在の社会で「生きにくさを感じている」方達の支援活動をしています。私達職員は支援活動しながら、トムトムにいらっしゃる利用者さんの皆さんの性格や持っている雰囲気、笑顔、素直な率直な表現に元気や希望を沢山頂いています。生きにくい方達と共生できる社会の実現を目指していかなければならないと思います。これが心の生産性？色々と考えさせられています。人は生きること自体に価値があるんだ!!そう感じさせられた研修でした。

ゆうゆうクラブ 東 真巳

3日間を通して私が感じたことは、自分以外の多くの人々も同じ様に悩みながら支援していることを知れて嬉しかったこと。そして障がいのある人を中心としたダンスパフォーマンスグループの発表を見て、そのエネルギーと個性、1人1人の長手を上手に引き出されていて皆で楽しそうに笑顔でパフォーマンスする人々に感動したことです。気が付いたら手が勝手に手拍子を取っていたことに自分でも驚き、短い時間でしたがとても楽しかったです。講義の中に出てきた障がいの特性をトムトムの利用者さんに置き換えながらお話を聴くことができたり、同じ業界の方々と交流ができたりととても良い経験になりました。

からんころん 山田太一



さまざまなイベントや研修がある中でわたしが印象に残っているのは、滋賀県で暮らしている障がいのある人や福祉施設の支援者が加わり、ダンサーとして構成されたダンスだった。2017年にフランスのナント市でこの公演を成功させたこともあるというだけあってとても素晴らしいパフォーマンスを見ることができた。この鮮烈なパフォーマンスはナント市の現地の人々から大喝采だったと紹介されていた通り、勢いある活発な動きでパフォーマンスをしていて、見ただけで楽しかった。演奏者のプロのミュージシャンである小室等さんとのコラボレーションで綺麗な音を聞きながら、彼らも楽しんでいるのがよく伝わってきた。

えぼっくハウス 菊地賢一



平成30年度研修・講習報告

月	内容	講師
4月	新任職員初任者研修	理事長、部長、課長、担当職員
6月	私たち支援員が大切にしなければいけないこと ご家族とのコミュニケーションを考える視点から	翔の会うーたん保育園長/松永徹氏
7月	熱中症対策	トムトム職員/猪俣位看護師
7月	交通安全講習	平塚警察署交通課/小平澤氏 他1名
9月	自閉症の特性と関わり方	横浜やまびこの里 東やまたびデン管理/木村重之氏
10月	障がい福祉サービス事業所における感染症対策の報告	トムトム職員/園川薫 岩野秀則
10月	安全運転講習	三共自動車学校
11月	親と子のライフステージを考える	全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員/又村あおい氏
11月	普通救命講習	平塚市消防本部/石田氏 原田氏
1月	腰痛予防、肩こり等をほぐすヨガ体操	ヨガインストラクター/松山成美氏
2月	ご家族の思いをくみ取る	利用者ご家族
3月	私たち支援員が大切にしなければいけないこと第2弾! ご家族の気持ちを直接傾聴して	利用者ご家族



又村あおい氏講演会

平成30年11月19日(月)

～親と子のライフステージを考える～

毎年、講師として来てくださる又村さんに、今回はトムトムの利用者のご家族向けに、将来に向けての「お金・福祉サービス・成年後見」についてお話いただきました。『保護者と障がいあるご本人の将来を考えたとき、保護者の年齢も併せて考慮し、保護者のライフプランも併せて生活設計を考えること。重要なのは「親無き後」を考えるのではなく、もっと前の段階「親の支援無き後」を考慮しなければならないことなのです』と、又村氏。障がいの程度によって具体的な給付金や貯金額を算出しながら、とても分かりやすいお話でした。



～車両管理責任者講習～ 平成30年11月21日(水)



法人が所有する車両は年々増加しており、車両の管理業務も重要となっています。そこで、各事業所から車両管理責任者を1名選出し、車両の管理体制の強化を図っていくことにしました。第一回目となる講習では、誰にでも簡単に出来るエンジンルーム等の点検の仕方を学びました。



～普通救命講習～ 平成30年11月1日(木)

平塚市役所消防課の方をお招きして、心肺蘇生やAEDの使い方の講習を行いました。人体模型を使っての心肺蘇生法の実技は、力の入れ具合が意外と難しく、汗だくな職員もいました。救命救急の重要性を身にしみて実感できました。



～腰痛予防、肩こり等をほぐすヨガ体操～

平成31年1月22日(火)、1/29(火)

2日間、ヨガインストラクターの方をお招きしてヨガ体操を体験しました。仕事柄身体に負担がかかることも多くありますが、日頃からしっかりストレッチなどのメンテナンスを行うことで、身体や気持ちに余裕ができ、より良い支援に繋がっていくのではないかと思います。



* 入会のおすすめ *

賛助会員



トムトムでは随時、賛助会員を募集しています。

私たちは、1999年7月に設立して以来、ハンディキャップのある方とご家族のためにさまざまな福祉事業を展開し、年齢や障がいの種別にかかわらず利用者主体のサービスの確立をめざして茅ヶ崎市・平塚市で活動を続けている特定非営利活動（NPO）法人です。

私たちの活動に賛同し、ご支援していただける方ならどなたでも賛助会員になっていただけます。賛助会員の皆様には広報誌（不定期発行）を通じて活動内容をご報告いたします。年会費は個人・団体ともに一口3千円となっております。皆様の温かいご支援をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひします。

* 編集後記 *

この号が発行されて間もなく、新元号が発表されます。平成の空気は自分に合っていたと感じます。次はどんな時代になるのでしょうか。キラキラと幸せな日々で満たされるよう、努力していきたいと思ひます。

広報委員 加藤 千晴

広報委員になり初めて広報誌づくりに参加しました。作成した原稿のデータが締切日に消えてしまうといったアクシデントも心優しい上司に助けられてなんとか担当のページが完成してほっとしています。

広報委員 太田 美保

寄附・賛助会員

11月~2月

河合様、原様、田中様、青木様、高橋様、濱野様、長谷川様、古郡様、齋藤様、山田様、加藤(富)様、山崎様、小川様、藤田(正)様、(株)プライムコンサルタント様、澤村様、藤田(幸)様、佐藤(成)様、佐藤(明)様、くさか様、荒井様、小林様、佐藤(由)様、飯田様、川口様、伊藤(厚)様、市川様、米谷様、永田様、(株)コミュニティ湘南様、GAUDI湘南平塚店様

ありがとうございます!

↓ トムトムが現在行っている事業 ↓

事業所名	事業名	対象
えぼっくハウス	■生活介護事業 ■就労移行支援事業	平塚市
キャロット工房	■就労継続支援B型事業	平塚市
えぼハウ	■日中一時支援事業	平塚市
ぶんぶん	■居宅介護事業 ■重度訪問介護事業 ■移動支援事業	平塚市
ゆうゆうクラブ	■放課後等デイサービス事業	平塚市
トムトム相談室	■計画・障害児相談支援事業	平塚市 茅ヶ崎市
あいあいクラブ	■放課後等デイサービス事業	茅ヶ崎市
ゴロゴロクラブ	■放課後等デイサービス事業※ ■日中一時支援事業	茅ヶ崎市
モンキーポッド	■日中一時支援事業	茅ヶ崎市
からんころん	■生活介護事業	茅ヶ崎市
ケアホームとむ郎	■共同生活援助事業	茅ヶ崎市

※ゴロゴロクラブは放課後等デイサービスを3月末をもって終了し、4月以降は、茅ヶ崎市日中一時支援は児童も対象として行います

特定非営利活動法人 トムトム

住所 ☆ 〒254-0019 神奈川県平塚市西真土1-7-56

電話 ☆ 0463-37-2012 FAX ☆ 0463-79-8528

Email ☆ houjin@npo-tomtom.com URL ☆ <http://www.npo-tomtom.com/>

